

のうきよう まちびつ



'97 **10** No.274

のうきょう ちがいつ

「コクがあつて、風味もまろやかしく、
おかげで今まで好評のてんすい糖。
今年もおいしく出来上がりました。」



もくじ

- 3 ——— 臨時総会
新店舗建設に向け、新たなる出発
- 4～5 — 第10回じゃがいも伯爵まつり
&ふれあい広場
- 6～7 — 〈営農技術〉
牛を見ることの大切さ
- 7 ——— 合理化でん粉工場操業開始
- 8～9 — 役員視察研修
- 10 ——— 〈わが家の人気者〉
私はカワイイいたずらっ子
協和 永谷万里菜ちゃん(1歳7カ月)
- 11 ——— 〈組合長日誌〉
Aコープ新店舗に向けて
- 12 ——— '97北海道ホルスタインナショナルショウ
- 13 ——— 全国和牛能力共進会視察研修
- 14～15 — 中標津乳牛改良同志会府県視察報告
- 16 ——— 平成10年度北海道立農業大学校生徒募集
- 17 ——— 〈暮らしの知恵袋〉
ハーブで暮らし楽しく
- 18～19 — 今月のフォトアルバム
- 20 ——— 9月の組合日誌

九月八日農協大会議室において臨時総会が開催されました。

これは、去る八月十二日土地集積に係る交渉経過や今後の進め方について説明する全体懇談会が開催されましたが、当日出席できなかった方が多かったので、改めてご報告と、来年の建設・オープンに向けた今後のスケジュールなどについて承認をいただくために開催されたものでした。

集積した用地に米秋新店舗をオープンさせるためには、建物についての基本設計や建築確認申請、用地についての開発行為の申請など、来年の通常総会までに相当な業務を消化せねばならず、これら一連の業務については、臨時総会にて皆様の承認を得る事が組合員の多くの意見でもありと受けとめ、工事工程など一連の業務と必要性について、地区別懇談会、臨時総会にて詳しく説明する事といたしました。

地区別懇談会は九月三日、四日の両日で各地区にて開催され、五十五人の組合員が参加されましたが、そのなかの主な意見としては、競合大型店の影響についての心配

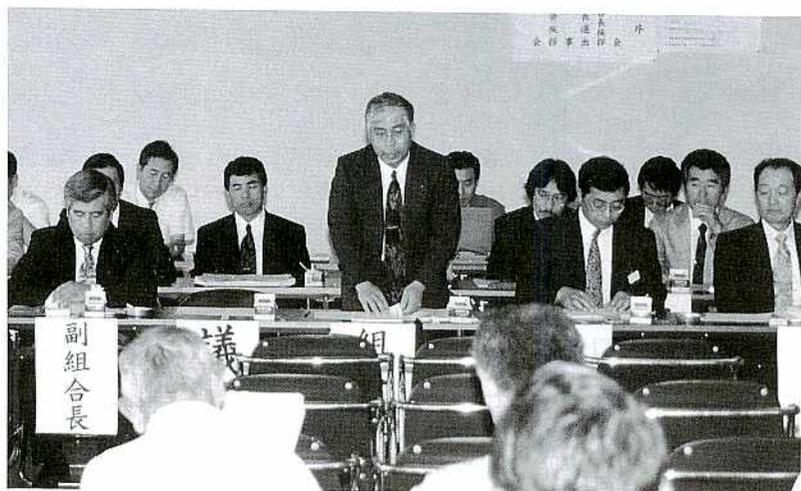
や、良い店づくりへの希望など、建設に対しての前向きな意見がほとんどであり、みなさんの気持ちもすでに方向は固まっているように感じました。

九月八日の臨時総会は、繁忙期でもあり、出席者が少なく開催が危ぶまれることが考えられたた

め、職員により組合員全戸に臨時総会の参加奨励推進を行ない、出席できない組合員からは書面議決書の提出を頂きました。

さて、当日は本人の出席四十人、書面議決ならびに代理出席二百三十九人、合わせて二百七十九人の出席で開会され、議長には俣落の

新店舗建設に向け、 新たなる出発



太田直行氏が推選され議事に入りました。

意見のなかに今後は職員の意識向上を目指し、意識改革と教育に十分力を注いでいただきたいとの要望などもありました。

その場で賛否をとり、二百五十人の圧倒多数の賛成をもって店舗建設について承認をいただきました。

組合長より「従来の甘えではなく、新しい店舗とそれにふさわしい人員体制を作り、組合員、役員、女性部、青年部、そして准組合員の意見を十分に伺い、組合員の期待に添えるような店舗展開をしてゆきたい」と力強く挨拶が行なわれ閉会いたしました。



「収穫の秋」家族連れで、 ジャガイモ掘りを楽しむ



焼肉会場では大勢の人達が「なかしべつビーフ」を味わいました

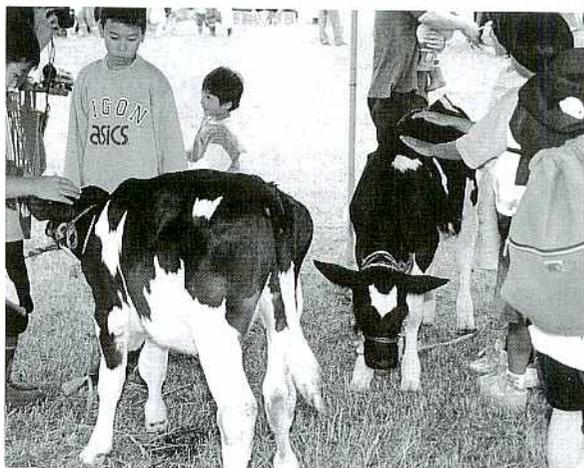
第十回じゃがいも伯爵まつり&ふれあい広場が、九月七日、町内南中の特設会場で開催され、町内外から約五千人が会場に訪れ、じゃがいも掘りを体験し、飲んで食べてゲームに参加、初秋の一日を楽しみました。

この催しは、中標津町農協青年部と町商工会青年部、町観光協会が構成する実行委員会の主催で今年で十回目の開催となります。

当日は、あいにくの曇り空でしたが、会場の特設ステージで開会式が行なわれ、大勢の家族連れが新ジャガを掘り起こし、袋いっぱい詰め込んでいました。



大勢の児童が順番を待つ熱気球



生まれて初めて子牛にさわると子供達



子供に人気の乗馬体験



羅臼漁協青年部による特産品のたたき売り



農協職員もミルクロードの売店でお手伝い

また、会場では乗馬体験、熱気球、フワフワ、サケのつかみどり子牛にミルクを飲ませる体験など数々のイベントが行なわれ、十周年を記念したイベントとして、男腕相撲大会が行なわれ、力自慢の参加者たちが熱戦をくりひろげました。

このほか、会場内では「なかしべつビーフ」の焼肉コーナーをはじめ農協青年部、女性部、野菜生産組合、ミルクロード、町商工会青年部、一般の出店などが並び大人から子供まで楽しい一日を過ごしました。

北根室地区農業改良普及センター

牛を見ることの大切さ 反芻と糞の話

乳牛管理の上手下手の境目は、牛のいうことをどれだけ正確に把握できるかということです。牛は言葉はしゃべれませんが、体の状態や行動で私たちに現在の健康状態を示してくれています。これらのモニター結果から現在の健康状態を判断し、次のステップへ移行できるかが勝負の分かれ目となります。

一、牛を見るポイント

- ① ボディコンディション
 - ② 毛づや
 - ③ 乳房の色
 - ④ 反芻の状態
 - ⑤ 乾物摂取量
 - ⑥ 糞の状態
- などがあります。ここでは特に

飼料給与と深い関わりを持つ反芻と糞の観察について考えます。

二、反芻は栄養バランスのパロメーター

反芻は、口から入った飼料の質と量を評価できる有力なパロメーターとなります。それでは、反芻とはどんなものでしょうか？基本から見直してみると

- ① 反芻は第一胃壁に対する飼料片などの刺激が始まる
- ② 反芻は採食後三十から六十分で始まる
- ③ 一回の吐出当たり咀嚼しやく時間は約一分、その間四十から六十回咀嚼しやくをする
- ④ 反芻は三十から六十分持続し、一日十数回繰り返し返す
- ⑤ 短いセンイ（濃厚飼料を含む）

には、反芻は期待できない。これらのことから反芻の状態から飼料中のセンイが十分にあるか、切斷長は適正か、切斷面は鋭いか（第一胃への刺激）を判断することができるとがわかります。

表1 糞が示すエサバランス

スコア	糞の状態	給与飼料と牛の状態
1	液状で黒色 粒子は細かい	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質が過剰 ・エネルギー不足 ・牛体はやせている ・被毛粗剛 →蛋白のバランスを取り直すこと
2	水分多く形状なし 粒子は細かい	<ul style="list-style-type: none"> ・分解性タンパク質が過剰 ・牛体はやせている →蛋白のバランスを取り直すこと
3	盛り上がり中央凹む 大きな飼料片みられる	<ul style="list-style-type: none"> ・良い状態 ・タンパク質とエネルギーバランス良好
4	やや固い 大きな飼料片、穀類みられる	<ul style="list-style-type: none"> ・分解性タンパク質不足 ・反芻胃内のデンプンとセンイの消化率低い →分解性、溶解性タンパクを増やす
5	固い センイと穀類が多くみられる	<ul style="list-style-type: none"> ・タンパク質不足 ・水分量不足 →乳タンパク乳脂肪を再チェック タンパク質含量を増やす

安全操業を願い 24時間フル操業

馬鈴しょ42万俵を受け入れ計画



安全操業を願いスイッチを入れる三友組合長

合理化でん粉工場操業開始

農協合理化でん粉工場の操業式が九月五日、同工場で行なわれ、十五日から受け入れ開始、二十日から本操業に入りました。操業式では、神主の祝詞のあと三友組合長、各関係機関の代表が操業の安全を祈願し玉ぐしが捧げられました。今年十一月月中旬までの期間、四十二万俵を受け入れる予定で現在工場には紅丸や粉ふぶきが貯蔵庫に運び込まれ、二十四時間フル操業に入っています。



貯蔵庫に運び込まれた馬鈴しょ

濃厚飼料の比率が高くなるにつれて、反芻時間が短くなり、これと平行して唾液の分泌量は少なくなり、ルーメン内のPHは低くなります。穀類の比率が高くなる高泌乳牛の場合は、特に反芻観察をすることが重要となります。

- ① 反芻の観察ポイント
 - 高いNDF (七十回以上の場合)
 - 長い切断長
 - 低い消化率 (低消化性繊維が多い)
- ② 反芻の強さは、リズムカルでかみ返しが強いはうが良い状態
- ③ 反芻が少ない原因 (四十回以下の場合)
 - 粗飼料の給与量が不足
 - 短い切断長
 - 粗濃比の不適切
- ④ 反芻が多い原因
 - 高いNDF
 - 長い切断長
 - 低い消化率 (低消化性繊維が多い)

三、糞は、健康状態を示すサイン
乳牛は飼料の摂取により、飼料中のセンイがルーメン内でマットを形成します。飼料中のセンイが不足していたり、粗飼料の切断長が短いとルーメンマットの形成が不十分で、反芻や唾液の流入、飼料の消化率が低下し、乳量、乳成分の低下、等四胃変位の増加などが起こります。

- (1) マット形成が不十分であるサイン
 - 濃厚飼料の穀類が糞中に多く認められる
 - 軟便となり糞中に荒いセンイが目立つ
 - 糞の状態からエサバランスを推察する
 - 糞の形状から飼料中のエネルギーと、タンパク質の量とバランスを推察することができます。表一を参照し給与飼料の栄養バランスを見直しましょう。

九月二十五日、女満別空港を十時に出発、羽田で乗り継ぎ午後二時、四国の徳島空港着。

取り引き先の藤原畜産社長の出迎えを受け、早々和牛とF1の肥育農家を見学、急な山の中腹を整地し、畜舎を建て二千五百頭を三人で管理し、飼料費を下げるために豆腐工場から出るカスを大量に



から 見つめる

役員視察研修

理事 中村 敏夫
理事 中村 哲

利用しておりました。経営規模は徳島一との事です。

翌二十六日は、小松島農協を訪問し、組合長より中標津の開村当初からの深い関係を語られました。

平成元年に四農協が合併し、農産物販売高二十八億円、その内、畜産販売七億九千万円、特に和牛の肥育では「阿波牛」としてのブランド化確立に取り組み、見学した農協直営の和牛肥育センターでは血統や産地別のちがいが、肉質などの調査研究に力を入れておりました。

また、肥育農家はほとんど山あいに点在しておりました。次に見学した和牛の肥育農家は良質肉生産に力を入れ、仕上げの段階では一頭ずつ繋ぎ飼いをし、出荷月齢は三十五〜三十六カ月と長めの肥育をしていますが、芝浦に出荷し平均脂肪交雑スコア一〇・二、肉色四・三でほとんどがA五に格付され、西日本でA三に入る実力を伺うことが出来ました。

午後からは、組合員百四十戸、乳牛頭数四千九百頭の第一酪連を訪問、高力副会長、和田副会長、

溝渕参事の案内で三戸の農家を訪問、経営者から中標津の活躍中の乳牛一頭一頭の説明を受けました。いずれも良い評価を受けておりました。ほとんどが、つなぎ飼いのため足の事故も多いようで、四産程で更新するそうです。そのため、最近は大形牛より中型牛を求めめる傾向にあるそうです。粗飼料は河川敷にデントコーンを作付けし、簡易サイロに詰め給与しておりました。

最後に訪問した酪農家（広澤牧場）は、水田を埋め立て一億円を投じ、その地方ではめずらしいフリーストール牛舎を建て、ちょうど一年目とのこと。成牛七十頭、育成牛三十頭、年間乳量六百万を若夫婦と両親で経営し、十年で返済すべく頑張っておりました。乳価は冬期が八十三円、夏期は十円増しとのこと、当地から導入された牛が大活躍中で、大変喜んでおりました。第一酪連には数日前、中標津から六十頭が着いたばかりであり、十二月にも購買に来て下さる予定とのことでした。

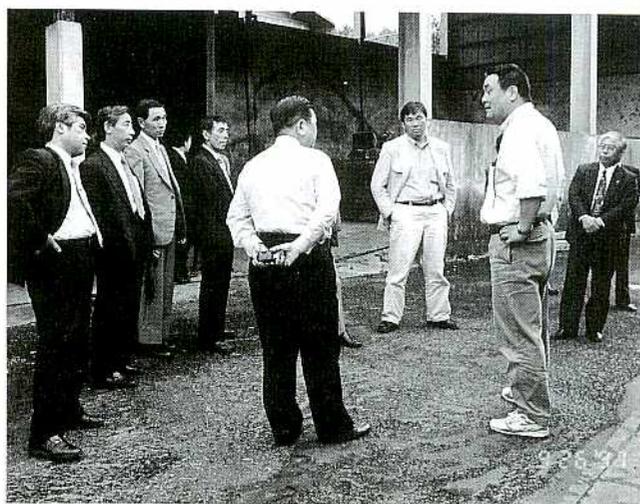
徳島県の乳用牛に関する統計

を見ますと、農家戸数は昭和四十五年の七千四百八十戸をピークに二十五年間減少を続け、本年二月には四百三十五戸、乳牛総頭数は昭和四十五年、三万三千五百頭が一万四千二百頭へ、一戸平均では四・五頭から、一九頭へ増加し、最近は落ち着いているようですが、就農者年齢を見ますと、二十九歳以下、二戸、三十〜三十九歳、三十五戸、四十〜四十九歳、百三戸、五十〜五十九歳、百三十三戸、六十歳以上、百六十二戸、総乳量七万八百三十七ト（平成八年）、中標津町農協九万五千五百三十三ト（平成八年）以上の数字を見ます時、高齢化が進み、若者は三K（きたない、危険、きつい）をきらい、他産業へ就職し、五年先、十年先を心配しております。

淡路島（洲本市）は、長年優良牛の導入の一部を中標津より行ない、相当数の基礎牛として活躍している所であります。

二十七日、丁度、畜産共進会が開かれ、中標津より久保剛氏が審査員を務める事もあって役員研修の一部に組み込んで訪問。中標津

側面の府県 北海道を



からの訪問があるという事で、普段より二十頭程多い約六十頭により行なわれていました。農業祭の一部として行なわれ、多くの市民が集まっていたのが印象的でした。

審査に当たった久保氏、同行した佐々木昭雄氏も含めて、地域の酪農家と広く交流をしました。和牛共進会も同時に行なわれていたが、参加頭数は乳牛と同じ位ながら、飼養農家数が多いため、周囲はギッシリと人が取り囲む盛況ぶりでした。繁殖雌牛ということで、但馬系で統一された血統で素牛供給地としてのまとまりを感じました。

その後、共進会場のすぐ近くにある川上牧場を視察しましたが、古い建物を利用したフリーストールに早くから取り組み、最高七産までと、乳

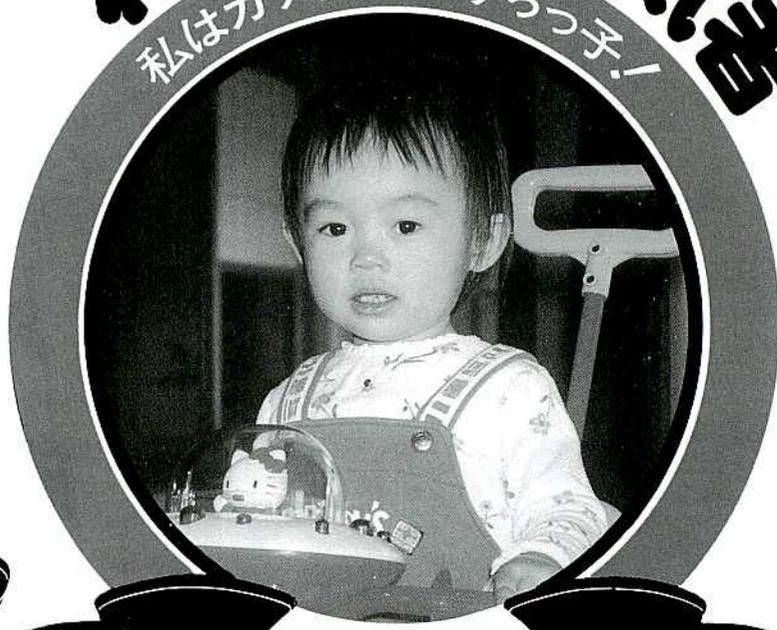
牛の寿命を伸ばす事に成功していました。ジャージー牛も二割程度入れ、牛乳を酪農協に製造委託して「川上さんちの牛乳」ブランドで独自販売するなど、経営に努力している様子が研修出来ました。

弾正原氏、桜井氏、滝ヶ平氏、工藤氏など、多くの中標津からの導入牛や、その娘などがいました。が、今後は余り大型牛は要らず、中型の飼い易い牛を望みたいと話していました。今回の研修を通して、粗飼料で育成された喰い込みの良い牛、充分な運動をしている足腰の強い牛が血統以上に望んでいる事を強く感じました。

私にとりまして、この度の研修は府県の側から北海道を見つめる機会となりました。これからも府県の農家が求める足腰の丈夫で質の良い乳肉素牛生産に励むことと、また、世界的な食糧不足時代を迎えようとしている今、北海道の食糧生産の役割は大きく、価格や環境問題など難題もありますが、組合員の皆様には誇りと自信を持って協同組合のもと、生産に励まれますことを念じご報告とします。

わが家の人気児

私はカワイイはずらっ子!



協和 永谷芳晴・正枝さんご夫妻
長女 万里菜ちゃん(1歳7ヶ月)

おめめをクリクリさせて、カワイイ笑顔で迎えてくれるのは、永谷さん宅のお姫さま、万里菜ちゃん。

おしゃべりも上達してきたこのごろでは、毎日家中をにぎわせているようです。

一見、はずかしがり屋さんのよ

うに見える万里菜ちゃんですが、実は、とっても元気なやんちゃっ子。

最近、ペンが大好きで、どこ

にでもいたずら書きをしてしまうというから、お母さんも大変。また、目を離れたスキに、画面が見えないほど、テレビにシールを貼っちゃったなどなど、色々ないたずらを巻き起こしているようです。牛も大好きで、夕方の搾乳には、しっかりお母さんのおともをし、牛舎へ。

牛に配合をあげたりと、万里菜ちゃんなりのお手伝い?もしているようですが、「平気で、牛に近づいていくから、心配なの」とお母さんの心境もわかりますね。

そんな活発な万里菜ちゃんも、たまあに、パパ、ママに甘えて泣

き出したりしちゃうのですが、そんな仕草も、本当にかわいい年頃なんです。

「今は、とにかく健康で元気に育ってくれば」というのが、お父さん、お母さんの願いのようですが、将来を思うとキリがないほど、万里菜ちゃんの成長を楽しみにしているようでした。

唄や踊りも得意な万里菜ちゃんは、今日も元気に飛び回っている事でしょう。

家族みんなの愛情をいっぱいかけて、これからもスクスクのびのび育ってくださいね。



農協のコーヒ牛乳が大好きだとい
うとっても良い子なのです

Aコープ新店舗に向けて

いつの間にか秋風が吹き、朝晩が冷え込み、遠くの日々から、里の木々も色づきはじめました。

一日、一日が短くなり、農作業のすすみ具合が心配にもなるこの頃となっています。

また、秋の大雨は何日も畑に入らず遅れ気味です。合理化でん粉工場も操業が軌道に乗った矢先に大雨に見舞われ、原料が途切れてしまい、操業計画に支障をきたしています。一日も早い秋の好天を待ち望んでいます。また苦勞の多い時期ではありますが、組合員の皆さんには豊作で無事な収穫作業を期待しています。

九月八日Aコープ店舗建設と、行程表の承認についての臨時総会を開催しました。

出席者の方々の熱心な討議の末、本人出席、委任状、書面議決書により承認をいただきました。誠にありがとうございます。

別紙面にて詳しく記されており

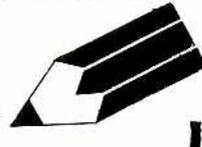
ますので重複をさけますが、単に移転新築するというだけではなく、各方面、店舗規模展開、従業員の意識、サービスなどを含めて従来

●今月のたより……

組合長日誌

代表理事組合長

三友 盛行



と違った視点で、新店舗を構築したいと決意を新たにしています。

事務所から離れて不便だということ、ご意見もありましたが、ぜひ行っ

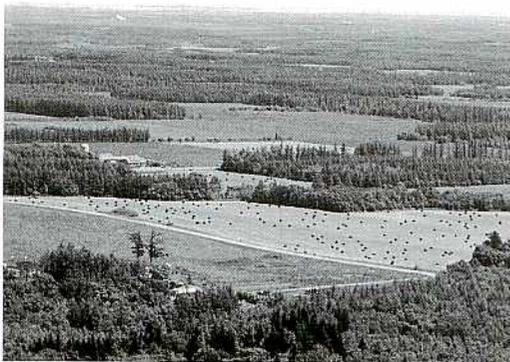
てみたい、行く価値があるという店づくりを目標としています。

現店舗は生鮮食品店として一応の品揃いはありますが、選び、そして買う心楽しみ、食卓の風景を想像する楽しみ、家族で揃って行く楽しみなどに欠けており、若い世代も少数でした。

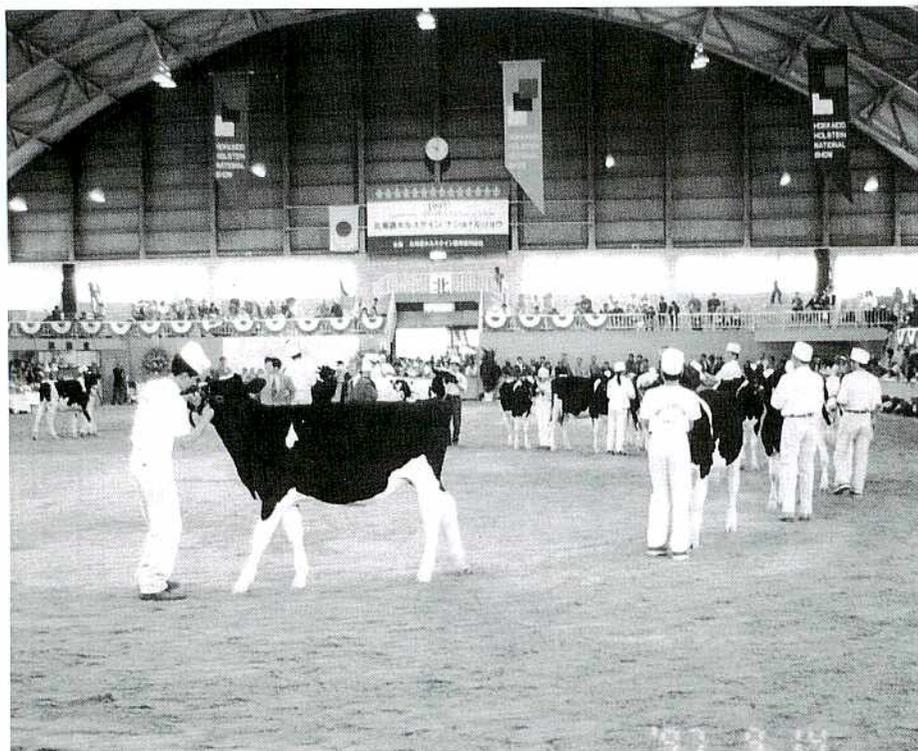
新鮮で豊富な品揃えはもちろんです。営業日数、時間延長、日曜営業、カートの充実による利便性、駐車場の拡大など、ハード面の充実と従業員の質の向上とサービスの充実を含めて、買い物をする楽しみと良い雰囲気作りに努めます。

また、組合員、青年部、女性部、一般の消費者の皆さんの意見を聞く機会をもうける予定です。アンケート調査も実施していますので、それらの結果を生かしてまいりますので宜しく願います。でん粉と畜産の研修に参加しましたので報告致します。国産でん粉には問屋、加工業者共に高い評価がありました。水産練り製品、ラーメンの業界では不可欠なものです。コストがかかるので、よ

り安い価格を希望されてきました。同時にPL法の施工、ハサップの適用により、今まで以上に品質管理が厳しく求められており、でん粉工場も食品工場としての位置づけが求められつつあります。また、牛肉では、脂肪のさしだけではなく、店頭でのうつりの良い肉食が強調されています。農畜産物に対する生産、加工業者、消費者の求めるものは時代を背景に急激な変化をしています。生産者としての対応は大変ですが、早急な大きな課題ですのでその解決に励んでまいります。



'97北海道ホルスタイン ナショナルシヨウ開催される



1997北海道ホルスタインナショナルシヨウ結果成績

第1部	1等1席	ティーエム アリー スターダスト	富沢 貢
第2部	2等3席	リバービレッジ チャールズ ホープマーク	川村 尊之 福村 稔
	2等8席	ハッピーイースト マラソン ベッシーチャール	
第3部	3等賞	マドキャップ タイロー インデオー	森 千秋
第4部	1等2席	アースイースト テコール ミステイ	佐々木昭雄
第5部	1等4席	エクセルシア MJ テリラー	久保 剛
第6部	1等3席	ハッピーランド アルピナ マット ミステイ	福嶋 信一
第9部	3等賞	サニーデール ブローカー ネリー	弾正原 正
第10部	3等賞	アースイースト ポシュロ スターET	佐々木昭雄
第11部	1等3席	アースイースト ミソノ クロー	佐々木昭雄 櫻井 幸一
	2等9席	レスポワール バインゴールド クリステイ	
第12部	2等4席	サニーデール プリシー マックス	弾正原 正
第13部	2等1席	ハッピーランド バリアン マットマリー	福嶋 信一 佐々木昭雄
	3等賞	マネーチャイルド ドニール ジャスティン	

入賞率10/14=71.4% (JA中標津) 31/55=56.4% (根室管内)

去る九月十三日、十四日の二日間
にわたり、早来町の北海道ホルスタ
イン共進会場で開催されました。
審査員には角倉了一氏(大樹町
酪農家)が勤められ、府県、海外
からのエントリーもありました。

当農協からは九戸十四頭の出品
となり、第一部では一等一席に輝く
など高い入賞を納められました。
今年行けなかった方々も来年に
向けて頑張りましょう。



国内和牛界 最大のイベント

全国和牛能力共進会視察研修

営農委員長	上村重光
管理購買委員長	佐々木政行
和牛生産者	山本正八
営農部長	渡部弘道



国内和牛界最大のイベントと言われる全国和牛能力共進会が9月11日～15日、岩手県滝沢村で開催され、各県から予選を勝ち抜き、選び抜かれた種牛の部282頭、肉牛の部150頭が出陳され競われました。

今、共進会のテーマは「育種価とファイトで伸ばす和牛生産」であり、育種価全共とも呼ばれている。

和牛の育種価は、それぞれが持つ遺伝能力を最終的な枝肉の成績から算出するようになっていて、枝肉重量、BMS(脂肪交雑)ロース芯の面積などの形質を、その牛がどの程度改良出来るか、どれだけの遺伝能力を持っているかを数値化したものであります。

育種価が良ければ子孫牛の肉質が良くなる可能性が高く、単に見てくれだけで優劣を競うのではなく、経済能力を加味した共進会でもありました。

府県の出陳者は非常に年齢が高く、また、出陳牛の調教が良くなされておりました。

会場には、全国各地から約六十万人の関係者と見物客が訪れ、共進会会場の岩手産業文

化センターは熱気にあふれ、各県出陳者のつば競り合いがなされました。また、会場には全国各産地の肉の紹介、宣伝、試食コーナー、各農機具メーカーの出店、消費者とのふれあいの場などが設けられ、幅広い層の人々が楽しめる会場づくりとなっております。

今回、組合長始め、役員のご配慮により、この共進会を視察研修することが出来たことにお礼を申し上げますと共に、牛肉輸入自由化で国際競争を強いられている肉牛業界でありますから、更に最近では和牛の特質が海外からも注目され、国内の産地間競争のみならず、海外も含めた改良の競争に打ち勝たなければならず、経済性を追求、重視した生産が求められます。

肉質がいくら良くても枝肉の小さいものは、生産農家の経営から見れば収益に結びつかない、この点についての生産改良が必要であります。

今後、当農協の和牛生産振興会生産者においても、このような点を注視し改良と生産に励み、中標津の和牛産地化を目指してほしいと考えます。

良い牛を販売し、 さらに良い牛の生産を

中標津乳牛改良同志会府県視察報告

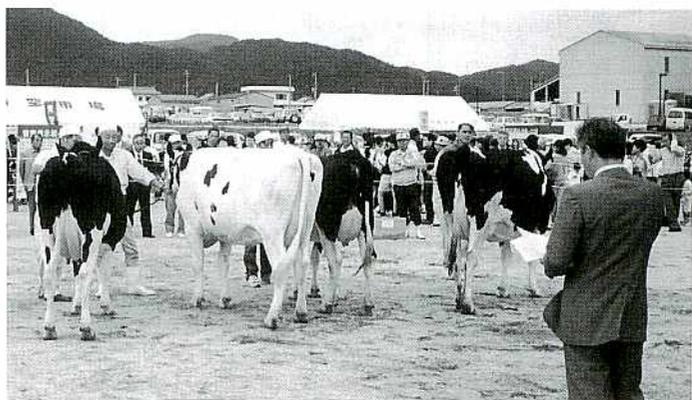


チャンピオン牛を囲んで

九月二十六日（二十八日迄）朝八時に牛舎仕事もそこそこに（妻には申し訳ない）自宅を出、今回洲本市共進会の審査員である久保剛氏を迎えに行き、女満別空港に出発。空港にて遅い朝食をとり、羽田、徳島経由にて洲本市に行きました。

今回は一昨年、洲本市酪農協より消流視察を兼ねて共進会の審査員の依頼がありました。台風のため延期になりましたが、台風の今年の春より洲本市酪農協より同志会のほうに、今年は予備日を作ったので審査員の派遣をお願いしたいとの事で、今回、久保剛氏に審査を依頼しました。

洲本市に着き早々に共進会場の下見を行いました。ここは前回の教訓を生かし、「多少の雨でも共進会を行なえる」という会場を作



ったとの事、会場名はアグリ公園（テレビで人気のあった朝のドラマより早くに名前がついていたそうです）。

さて共進会ですが、ホルスタイン、五クラス六十頭、和牛が三クラス五十六頭の出品（和牛は黒い牛ということだけで、全然わからないので良く見ていなかった）。乳牛は北海道の共進会と違って

少し遅れている感がありました。

未経産牛は、やはり北海道からの導入牛の血液を引いた娘達に良いタイプの牛が見られました。今回出品された未経産の中で、中標津から導入された牛で、阿部文雄氏、福岡信一氏、弾正原正氏から導入された牛の娘達が特に目を引きました。

経産牛については二才三才クラスでは、体は今一つで物足りない所はあるけれど、乳器についてはかなり良いものも多く見られました。四才以上の成牛クラスは三頭の出品でした。やはり年齢が進むと体、足などは内地の牛という事がわかるクラスではなかったでしょうか。グラントチャンピオンを獲得した牛は(二才三才クラス)、後乳房の高さ、幅など今後楽しみな一頭ではないでしょうか。

共進会の運営を見ていると市が主催という事もあるのか、開会式は行なわれず、いきなりの開会宣言が行なわれ、そのまま審査が開始されました(この辺は当農協でも見習った方が良いのでは...)。しかし、開会式が大変でした。

延々と一時間少々、各関係機関の名士達の挨拶が行なわれたのにはビックリ。また、各部一等賞一席の牛には優勝旗が送られたのには(但し持ち回り)二度ビックリ。

セレモニーが終り、洲本市酪農協の同志会の人達に、毛刈りの指導、牛の引き方の学習会も行なわれ、共進会の審査、講習会の指導にあたられた久保氏も少々疲れがみでした。

また、中標津町農協の理事達が役員研修で洲本に寄り、交流をしてきたのは意義が大きかったと思われまます。

共進会終了後(夜)に同志会の人達と懇親会を行ない、交流を図りました。

翌日は、個々の農家の視察を行ない、フリーストール牛舎の牛はあまりいたんではいませんでした。また、第二ホクレン丸について農家より批判が出ていました。

これからは若い人達もどんどん府県に行き、(審査員としていければ最高)多くの事を学んできてほしい。

また、これからも当同志会も

とより、農協、関係機関が一体となり、生産販売を目指し(良い牛をどんどん売り、さらに良い牛の生産を目指し)、中標津の酪農(ホ

ルスタイン)を益々発展させていかなければと、深く心に感じた視察研修でした。



↑審査終了後、毛刈りなどの講習会

→昔なつかしい車

平成10年度北海道立農業大学校 生徒募集のご案内

- 1、募集学科 畜産経営学科及び畑作園芸経営学科
- 2、修業年限 2年
- 3、募集人員 60人（うち推薦入校による募集人員は、全体のおおむね7割とする）
- 4、教育目標

次代の農業及び農村を担う優れた農業後継者の養成を目的として、次の目標の下に実践的な教育を行う。

- (1) 農業の国際化、技術の高度化などに対応した近代的な農業経営を行なうのに必要な高度の知識、技術及び能力の修得
- (2) 農業・農村地域のリーダーにふさわしい指導力の養成

5、応募資格

(1) 推薦入校

次のすべての要件に該当する者で出身高等学校長が推薦する者とする。

ア、高等学校（学校教育法（昭和22年法律第26号）に定める高等学校をいう。以下同じ）を平成10年3月に卒業見込みの者

イ、高等学校における学習成績概評がB段階以上の者

ウ、心身ともに健康な北海道内の農家（農業法人構成員を含む）子弟・子女で、北海道立農業大学校養成部門を卒業後、北海道内で就農することが確実な者。

- 受付期間 平成9年11月17日(月)から11月25日(火)まで（消印有効）

試験日 平成9年12月11日(水)

試験地 北海道中川郡本別町（北海道立農業大学校）及び北海道札幌市

試験科目 作文及び面接

合格発表 平成9年12月24日(火)

(2) 一般入学

ア、高等学校を卒業した者、もしくは平成10年3月に卒業見込みの者、またはこれらと同等以上の学力を有すると知事が認めた者とする。

イ、心身ともに健康で、北海道立農業大学校養成部門を卒業後、北海道内で就農する意志を有する者

- 受付期間 平成9年12月1日(月)から12月8日(月)まで（消印有効）

試験日 平成10年1月22日(水)

試験地 北海道中川郡本別町（北海道立農業大学校）及び北海道札幌市

試験科目

(ア) 必須科目 作文及び面接

(イ) 選択科目 数学Ⅰ、または農業基礎のうちいずれか1科目

合格発表 平成10年2月4日(水)

- 問い合わせは、北海道立農業大学校（電話01562-4-2121(内線311、または312)

郵便番号089-36 北海道中川郡本別町西仙美里25番地)、最寄りの支庁農業振興部農務課、もしくは地域農業改良普及センター、または市町村に行なうこと。

暮らしの

知

恵

森



北根室地区農業改良普及センター

ハーブは香料、薬、保存料、染料、入浴剤などとして古くから主に生のものを使っていました。日本のミツバ、シソ、ネギ、シヨウガなどもハーブといえるでしょう。最近ではハーブを育てる人も多くなっています。そこで育てたハーブを生活に取り入れるため、利用方法を紹介します。

○ハーブ料理に挑戦

ハーブの香りがはっきり感じられるものに、ハーブバターやハーブチーズがあります。

○バターやクリームチーズ、

ハーブ、ローズマリー、セイジ、マジジュラム、チャイブなどのみじん切りのハーブを大さじ一弱加え、練り合わせて使います。作りおきもできるので便利です。バターは魚のムニエルやステーキに添えて、チーズは野菜やパン、クラッカーにのせていただきます。また、米酢などにバジルやタイム、ローズマリーなどを漬けておくとハーブピネガーになり、ドレッシングやマリネに加えるとおいしさがちがってきます。

○粉とみじん切りにしたハーブ(タイム、ローズマリー、セイジ、マ

ジジュラムなど)を炒めます。ハーブパン粉を作っておくと様々な料理に活用ができます。

ハーブそのものを楽しむには、てんぷらがあります。セイジやミントはともおいしいです。また、バジル、チャイブは日本のネギやシソのように炒め物やサラダなどに簡単に使えます。ローズマリー、

タイム、セイジの三種類は肉料理の下味に使用できます。この三種類のハーブは臭み消し、消化作用、防腐効果があります。塩、コショウやにんにくと共に、ハーブのみじん切りを鳥肉などにまぶし調理してみましょう。

クッキーやケーキを作るとき、ミントやバジルなどを混ぜ入れてもよいでしょう。

○ハーブティ
ハーブティには様々な薬効があり、また香りがよい上にカフェインを含まないのが健康茶として飲む人も多いようです。入れ方は紅茶などと同じです。摘んだばかりの葉を(乾燥させた物でもよいです)ポットに入れ、熱湯を注ぎ五

分に注ぎます。自然の香りを楽しめます。

○生活の中で楽しむ
このほか生活の中でのハーブの楽しみ方として…

・布袋にハーブを入れて浴槽に浮かべると、よい香りと薬効で心身の疲れを除いてくれる入浴剤になります。

・無香料の石けんを削り、湯煎で溶かし、煮出したハーブエキスを加え、型に入れて乾燥させるとハーブ石けんができます。

・セイジやローズマリーは黒髪をつややかにする効果があります。ドライにしたものを水から十分ほど煮て、冷ましてからこし、ハーブリンズとして使用できます。

・ラベンダーやカモミールなどを乾燥させ、ガーゼにくるみ、木綿の小袋に入れ、匂い袋に。

まだまだなじみの薄いハーブですが、育てる楽しみ、そして生活に取り入れる楽しみを工夫し、自然の豊かさを実感してみてください。



まだまだあるぞ、まだあるぞ？

秋の収穫祭、ジャガ芋で舌鼓み

中標津ジュニアホルスタインクラブ主催によるジャガ芋祭りが9月21日ホクレン家畜市場で行なわれました。例年は、育てたお化けカボチャを持ち寄っての収穫祭でしたが、今年は春に自分たちで植えたジャガ芋を収穫しての行事となりました。

自分で掘ったジャガ芋を持ち寄って大きさを競ったり、変な形をしたものを持ち寄り想像にまかせて勝手な名前をつけたり…。そうして楽しんだ後は、ジャガ芋に舌鼓。収穫したジャガ芋はスライスしてポテトチップスに。小さな芋は串に刺して油で揚げて。ふかした芋はバターをつけて…。大変おいしく満腹になった収穫祭でした。

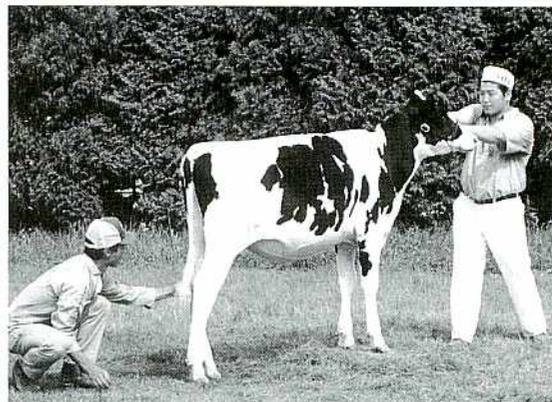
フ
オ
ト
ア
イ
ル
ズ
ム

全道ジュニアホルスタイン クラブ酪農教室

9月13日、14日にかけて早来町で開催された全道ホルスタイン共進会の中で、全道ジュニアホルスタインクラブ酪農教室が行なわれました。全道のジュニアクラブから170人の会員が参加。根室管内からは25人（中標津9人）が参加しました。13日には酪農教室や写真コンテストの表彰などが行なわれ、ジュニアカーフクラスのためのリードマンシップについて実践しながら、なおかつ細かい講習を受け、みんな真剣に勉強して来ました。

14日のジュニア・カーフクラスでは、中標津ジュニアクラブから佐々木宏之君、金刺真由子さんの2人が、根室管内代表の4頭の中に選ばれて出場して来ました。2人とも大健闘し、みんなが応援する中、佐々木宏之君が1等1席となりました。本当におめでとうございます。

写真コンテスト結果・金賞2席 弾正原なつみ、金賞4席 佐々木宏之、銀賞1席 佐々木尚洋



1等1席に輝いたティーエム アリー スターダスト号

35チーム約280人が熱戦を展開！

根室管内交流ゲートボール大会

根室管内農協交流ゲートボール大会が9月4日、別海町営ゲートボール場で開催され管内から代表35チーム、約280人が参加しました。

この大会は、同実行委員会（安江八五郎委員長）が主催し、北海道信連中標津支所、管内農協が後援し、今年で5回目の開催となります。JA中標津からは4チームが参加し、前年度優勝の俣落チームが健闘しましたが、おしくも7位、団体ではJA中標津は5位に入りました。

大会結果は次の通り

団体（農協）

優勝 JA西春別

準優勝 JA別海

3位 JA標津

チーム

優勝 泉川（JA西春別）

準優勝 古多糠A（JA標津）

3位 昭和（JA別海）



はつらつとしたプレーを見せる皆さん



機械操作の 技術向上を目的に

（有）ファム・エイ 機械技術研修

酪農ヘルパー業務を行なう（有）ファム・エイ（臼井勝也社長）では、ヘルパー業務の円滑化と機械操作の技術向上を目的に、9月18日、当幌・山田牧場を会場に行なわれました。

研修は、特にけん引の技術向上を中心に、社員1人ひとりが熟練した社員の指導のもと、納得するまで何回も練習していました。



9月の 組合日誌

- 2日 馬鈴しょ耕作者全体会議
- 3日 地区別懇談会 当幌・中標津
武佐・開陽・俣落・第二俣落
- 4日 地区別懇談会 俵橋
- 5日 でん粉工場操業式
- 6日 第8回役員協議会
- 7日 第10回臨時総会
第9回役員協議会
- 9日 馬鈴しょ出荷督励
- 10日 第7回生産委員会
熟年会役員会
- 16日 道常例検査～19日
- 17日 店舗建設委員会
青年部役員会
- 19日 道常例検査監査講評
- 22日 第5回営農委員会
ふれあい広場反省会
- 29日 熟年会役員会

10月は道税の 納税推進強調月間です

道では、10月、12月、3月のそれぞれ1カ月間を「納税推進強調月間」として、道税の納税推進に取り組みます。10月は、自動車税に重点をおいて滞納整理の促進に努めます。自動車税は、毎年四月一日現在の自動車の所有者の方に課税され、5月31日（今年は6月2日）までに納めていただく道税です。道税は、住みよい地域社会をつくるための重要な財源です。皆さんの暮らしの中で活かされている道税についてご理解をいただき、納税にご協力ください。

納税についてのご相談は、根室支庁税務課へお問い合わせください。
根室支庁総務部税務課徴収係
(01532)3-6131 内線2361・2362

10月16日、17日は 一日皆貯金

大きく育てよう農協貯金

10月16日、17日は農協の一日皆貯金の日です。

今年も職員が皆様の各家庭を訪問し、集金に伺いますのでよろしくご協力お願い申し上げます。



Aコープ・農協前給油所 就業時間変更のお知らせ

11月1日から4月30日まで冬期時間に

Aコープと農協前給油所の就業時間が11月1日から次の通り変更となりますのでお知らせ致します。

Aコープ 午前10時～午後6時まで。

農協前給油所 午前8時30分～午後6時まで。

他の組合業務は平常通りです。

宜しくお願い致します。